

2014 年度事業活動報告

(2014 年 5 月 1 日～2015 年 4 月 30 日)

2014 年度は新しい事業が開始しました。日本おもちゃ図書館財団のご協力を得て、タイの山岳民族の学校、ストリートチルドレンの施設等と、ラオスの学校におもちゃを届けました。おもちゃを受け取った施設では、子どもたちが毎日楽しく遊んでおり、子どもたち自身で、取り合いはしないこと、遊んだ後は元に戻すこと等を話し合ったようです。子どもたちの心身の成長に寄与できる事業となることが期待されます。

子どもの商業的性的搾取の根絶をめざす活動では、2014 年 6 月に「子ども買春・子どもポルノ禁止法」の改正が行われました。長い間ロビー活動を続けていた「子どもポルノの単純所持」が処罰の対象となったことは大きな前進です。

国際協力活動

1. おなかいっぱいプロジェクト

今年度は、昨年度に引き続きチェンライ県のチェンセンにあるストリートチルドレンの保護施設「子どもの家」の食費の支援を行いました。この施設には 4 歳から 18 歳までの 60 人の子どもたちが共同生活をしています。胎児の時から親の麻薬中毒や栄養不足の影響を受けている子ども多数おり、発育を助けるための食事の支援を行いました。栄養豊かな食事は子どもたちの健やかな成長に欠かせないものです。

この事業は一口 500 円の「まんぷく基金」、「書き損じはがき」の寄付と、「おなかいっぱい T シャツ」の収益で賄われています。

3. AIDS 孤児里親支援

例年と同じくチェンマイ県の AIDS 孤児施設「希望の家」と「愛の家」に学費の支援金を送りました。「希望の家」では今年、2 名が大学を卒業しました。一人は就職しましたが、もう一人は希望の家に戻り、子どもたちの世話をする仕事をしています。AWC からの支援金はこの 2 名の学費の一部となっています。「愛の家」の子ども達も順調に成長し、大学や専門学校に進学する子どもが出ています。

また、日本国内で AIDS 孤児のためにキルトを作製しているグループと提携してキルトを届けました。

4. トイライブラリープロジェクト

日本おもちゃ図書館財団の協力を得て、チェンマイ県の「バン・メーランカムスクール」、アーサーパッターナデッキ財団の「子どもの家」、「ドロップインセンター」とラオスの小学校 1 校に試験的におもちゃを贈りました。これらの施設の子どもたちのほとんどは、自分の家におもちゃを持っていません。

おもちゃは、子どもの想像力や、運動能力、自己表現力を伸ばすために重要な役割を果たします。おもちゃを贈った学校の校長先生は「学校におもちゃがあれば子どもの就学率、出席率を伸ばすことができる」と話されていました。子どもたちの健やかな成長を願ってこの事業を継続していきたいと思えます。

5. かいこプロジェクト

自立支援を目的にチェンマイ県のバン・メーランカムスクールと子どもの家で実施している「かいこプロジェクト」は、少しずつ進んでいます。「子どもの家」では高校生が中心となって養蚕を行っています。まだ、たくさんの繭を生産できるころまではいきませんが中のさなぎを食べることが楽しみで、年少の子どもたちも手伝っています。バン・メーランカムスクールは粘土質の土地なので桑の生育に苦労をしていましたが、今年は保護者も一緒に植え方や追肥の工夫をした結果、生育状況が大きく改善しています。

6. フェアトレード

今年も、チェンマイ県のストリートチルドレンの子どもたちが作った手作り品や、山岳民族の女性やAIDS孤児の作った布製品、タイのDV被害の女性たちを支援する会社がつた石けんなどを買い入れ、国内の様々なイベントに参加して紹介、販売を行いました。この事業は私たちの支援先の人々の収入向上と自立を目指しています。

国内活動

1. 子どもの商業的性的搾取の根絶をめざす活動

子どもポルノの単純所持を処罰の対象とすることを求めて「子ども買春・子どもポルノ禁止法」の改正を求めて署名活動等を実施してきましたが、2014年6月5日に衆議院本会議を、続く6月18日には参議院本会議で賛成多数で可決されました。この法律の改正は2004年以来10年ぶりです。

法律の改正は大きな前進ですが、昨年1年間、子どもポルノ禁止法で検挙された事件は1644件と過去最多となっています。インターネット上での対策や量刑が適切であるかどうか等の課題はまだ残っています。今後もこの活動を継続していきながら、子どもを守る社会作りに力を注いでいきたいと考えています。

2. 東日本大震災復興支援事業

東日本大震災復興支援事業は、2011年から支援を続けている陸前高田市の子育て支援施設「きらりんきっず」を今年も支援しました。「きらりんきっず」では地域の子育てを孤立しないように、自分の地域に誇りを持てるように親子を対象に様々な事業を実施するほか、震災後増加した父子家庭のお父さんたちを支える事業などを展開しています。

3. ユースによる報告会

2月7日「よこはま国際フォーラム2015」にて、ユースグループが中心になって、「村会議～あなたもタイの山岳民族の村人です～」というワークショップを開催しました。夕方5時からという遅い時間にもかかわらず、15名のご参加をいただき、熱心なセッションが行われました。

ユースメンバーの演じた村の現状の劇は、参加された方々に村の状況をわかりやすく伝えることができ、共感をいただきました。次の村会議では、参加者全員が役割を持ち（学校の先生や村長、子どもなど）、自分の生活状況を話しながら、問題点を話し合いました。HIV/AIDSの課題、国際協力の難しさと重要性などが浮き彫りになりました。

4. パネル展示

7月14日（月）～20日（日）アートフォーラムあざみ野にて、パネル展示「タイ山岳民族の子どもたち～かいこプロジェクト～」を開催しました。交流コーナーの入り口近くの展示会場では、民族衣装なども展示し、多くの方々に展示を見ていただくことが出来ました。

5. 手作り Café

偶数月に事務局内で「手作り Café」を実施しています。2時間以内で作成できる手作り品を共に作りながら、参加者にタイの子どもたちの様子や現在の活動の状況などをお伝えしています。参加者の中からバザーのボランティアに参加して下さる方も出ています。

6. 各種イベントへの参加

2014年度は以下のイベントに参加し、広報活動を行う他、フェアトレード品の販売などを行いました。

多くの方々との繋がりを作ることができました。

(1) あーすフェスタかながわ 2014

2014年5月17日(土)～18日(日) 本郷台あーすプラザ

(2) ふれあい交流の広場

2014年7月8日(火)～10日(木) 神奈川県民サポートセンター

(3) AIDS 文化フォーラム

2014年8月1日(金)～3日(日) 神奈川県民サポートセンター

(4) グローバルフェスタ JAPAN 2014

2014年10月4日(土)～5日(日) 日比谷公園

(5) よこはま国際協力フェスタ 2014

2014年10月18日(土)～19日(日) 象の鼻パーク

(6) 旭区民まつり

2014年10月19日(日) 帷子川浸水緑道

(7) ポレポレまつり 2014

2014年11月8日 本牧いずみ公園

(8) 世界 AIDS デーイベント in よこはま 2014

2014年11月22日(土) 横浜 SOGO 前イベントスペース

(9) シルキークリスマス

2014年12月14日(日) シルク博物館

(10) 中区多文化フェスタ 2014

2014年12月14日(日) 横浜市技能文化会館

(11) 国際女性デー2014

2015年3月8日(日) フォーラム南太田

7. 定例活動

(1) ボランティアデー

毎月第3木曜日午後1時30分～5時、事務局でボランティアデーが行われています。ニューズレターの発送を始め、書き損じはがきの整理、リーフレットの作成、バザー準備等の作業を行いました。

(2) バザー準備

商品管理、整理、発送等作業を、バザーにあわせて随時ボランティアが集まり、実施しました。

8. 広報活動

(1) AWC 通信

2014年9月20日 AWC 通信を発行しました。

(2) AWC 事務局便り

2014年度は10号発行、FAX 配信8人、メール配信20人の他、寄付御礼にも同封しており、発行枚数は増えています。

(3) ホームページ

新しい情報を多くの方に知っていただけるように、常にホームページに事業をアップできるように努めました。

9. 書き損じはがき

「おなかいっぱいプロジェクト」の寄付として書き損じはがきを収集しています。書き損じはがき2枚で3食の給食を届けることができる寄付で、今年度も多くの方から書き損じはがきをご寄付いただきました。